

福岡県医発第 1333 号 (学)
平成 16 年 10 月 25 日



各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 竹 嶋 康 弘



生涯教育の新しい学習方法による単位取得について

平素より生涯教育推進のため種々ご協力賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成 16 年度より、下記の項目を新しく生涯教育の評価に加えることになりましたので、貴会会員に周知のうえ、新しい学習方法による単位取得を会員にお勧め下さいますよう、貴職の特段のご配慮をお願い申し上げます。

なお、

1. 「医師国家試験公募問題作成」と「インターネット生涯教育講座によるセルフアセスメント解答」に関する具体的な事項は別添の通りですので、ご参照ください。
2. 「医師国家試験公募問題」の提出は、本会宛 12 月 28 日（火）までにご送付願います。

記

- (1) 「インターネット生涯教育講座」セルフアセスメント解答 (別添 1)
- (2) 医師国家試験公募問題作成 (別添 2)
- (3) 臨床実習・臨床研修の指導医
- (4) 指導医のための教育ワークショップ参加

小郡三井医師会より

担当理事 永田正和



(生 39)

平成16年10月19日

都道府県医師会

生涯教育担当理事 殿

日本医師会常任理事

橋本 信也



生涯教育の新しい学習方法による単位取得について

平素、本会生涯教育制度推進にご協力賜りまして誠にありがとうございます。

さて、平成15年度都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会にてお知らせがありました通り、平成16年度より、下記の項目を新しく生涯教育の評価に加えることになりました。

なお、「医師国家試験公募問題作成」と「インターネット生涯教育講座によるセルフアセスメント解答」に関する具体的な事項は別添の通りですので、ご参照ください。

本件につきまして、貴会会員に周知のうえ、新しい学習方法による単位取得を会員にお勧め下さいますよう、貴職の特段のご配慮をお願い申し上げます。

記

- (1) 「インターネット生涯教育講座」セルフアセスメント解答 (別添1)
- (2) 医師国家試験公募問題作成 (別添2)
- (3) 臨床実習・臨床研修の指導医
- (4) 指導医のための教育ワークショップ参加



「インターネット生涯教育講座」 セルフアセスメント解答について

1. 趣旨

「インターネット生涯教育講座」は、動画、静止画、音声、テキスト等を組み合わせた効果的な学習教材であり（別添作品一覧参照）、平成 14 年度から日医ホームページ生涯教育 On-line において配信されている。

平成 16 年度より、本会ではこれを「日医生涯教育協力講座」に含め、16 年 4 月現在、8 社の協力を得ている。本講座の企画監修は本会学術企画委員会が行っており、本講座の各パートには、学習成果を自己評価できるようセルフアセスメントを設けている。

2. 取得単位

「インターネット生涯教育講座」の各パート（約 30 分）に設けられたセルフアセスメントは一正解形式で 5 設問からなり、全問を解答すると、正解、不正解を問わず、1 単位が取得できる（正解数による採点制は、現在検討中である）。

なお、各パートは 3 年間掲載し、セルフアセスメントは 1 年毎に改訂する予定である。1 年間に同一パートで 2 単位取得することはできない。

3. セルフアセスメント解答受付開始時期

平成 16 年 11 月 1 日（月）より

4. 取得単位の取り扱い

（1）日本医師会は、「インターネット生涯教育講座」セルフアセスメント解答により会員が取得した単位数を、コンピュータに記録し、管理する。これは「日医雑誌を読んで評価・意見をハガキ・インターネットで回答」と同様である。

（2）（1）の日本医師会でコンピュータ管理された学習単位は、都道府県医師会から提出された申告書または一括申告の合計単位数に加算され、その会員の最終申告データ（単位）とする。

（3）「インターネット生涯教育講座」セルフアセスメント解答者に関する年間の集計結果は、日本医師会から都道府県医師会に年度末に通知する。

以上

日生涯教育協力講座
「インターネット生涯教育講座」
テーマ一覧

平成16年10月現在
(製作中の作品も含む)

配信開始 年度	テーマ	テーマ監修者	協賛会社
平成 14 年度	救急蘇生法	3パート 小林国男 帝京大学救命救急センター教授	藤沢薬品工業株式会社
	虚血性心疾患の診療	2パート 永井良三 東京大学医学部循環器内科教授	
	再生医学	3パート 秦 順一 国立成育医療センター研究所長	
	最近の感染症	3パート 木村 哲 東京大学医学部微生物学教授	
平成 15 年度	内視鏡手術	3パート 北島 政樹 慶應義塾大学医学部長・外科教授	
	画像診断－最近の進歩－	4パート 片山 仁 大東医学技術専門学校長	
	肝疾患診療(外科編)	1パート 石井 裕正 慶應義塾大学医学部内科教授	
	肝疾患診療(内科編)	2パート 幕内 雅敏 東京大学医学部臓器病態外科教授	
平成 16 年度	よくみる感染症	1パート 木村 哲 国立国際医療センター・エイズ治療・研究開発センター長	
	免疫－基礎編－	3パート 垣生 園子 東海大学医学部生体防御学教授	
	心不全診療	2パート 永井 良三 東京大学医学部附属病院長・循環器内科教授	
	メンタルケア	2パート 宮岡 等 北里大医学部精神科学教授	
	在宅酸素療法	1パート 谷本 普一 東京慈恵医科大学客員教授・谷本内科クリニック院長・ 東京呼吸器疾患研究所長	
	インフルエンザとかぜ症候群	2パート 工藤 翔二 日本医科大学内科教授	中外製薬株式会社
	生活習慣病予防 ～メタリックシンドロームにおける患者指導～	3パート 齋藤 康 千葉大学大学院医学研究院細胞治療学教授	キッセイ薬品工業株式会社
	禁煙指導	1パート 櫻井 秀也 日本医師会副会長	ファイザー株式会社
	高血圧診療	6パート 猿田 享男 慶應義塾大学医学部内科教授	第一製薬株式会社
	不整脈の治療と管理	3パート 小川 聡 慶應義塾大学医学部内科教授	
	子宮頸癌の診断と治療	1パート 藤井 多久磨 慶應義塾大学医学部産婦人科	塩野義製薬株式会社
	CAPD療法	1パート 川口 良人 神奈川県衛生看護専門学校付属病院長	バクスター株式会社
	疼痛コントロール	4パート 花岡 一雄 東京大学医学部生体管理医学(麻酔学)教授	田辺製薬株式会社

医師国家試験公募問題作成について

1. 趣旨

最近の医師国家試験は、合否基準、試験問題の公募、プール制の導入、試験問題の回収など、多くの点で改善が行われている。

このうち試験問題については、平成 13 年から全国の大学医学部・医科大学教員からの公募が開始されており、日本医師会会員にもお願いすることが、医師国試改善検討委員会で決定されている（平成 15 年 4 月 17 日）。

公募された試験問題は、厚生労働省内委員会でブラッシュアップされ、数万題の試験問題が蓄積され、いわゆるプール制が施行されて、良質な試験問題がくり返し出題されることになる。

地域医療に携わる臨床経験豊富な日医会員も生涯教育の一環として、医師国家試験問題を作成し、わが国の良き医師養成に参加することを望みたい。

2. 取得単位

会員が作成した試験問題は所属の都道府県医師会に提出する。取得単位数については、当面 3 単位とするが、一般問題と臨床実地問題によって取得単位は異なるものと思われるので、検討のうえ、あらためて通知する。

3. 出題範囲と出題形式

(1) 出題範囲は、医師国家資格試験出題基準（平成 17 年版^{*}）の以下の中からとする。

① 必修の基本的事項

② 医学総論

Ⅰ. 保健医療論

Ⅱ. 予防と健康管理・増進

(2) 出題形式は、A タイプ（5 肢 1 択形式）とする。

(3) 一般問題、臨床実地問題、いずれでもよい。

^{*} 本状に 1 冊同封したので、参照されたい。

4. 会員の応募問題のとりあつかい

- (1) 都道府県医師会生涯教育担当者は、会員が応募した問題を取りまとめ、日医生涯教育課宛に郵送する。
- (2) 都道府県医師会生涯教育担当者は、出題者名を記録し、その年度の生涯教育一括申告データに取得単位を加算する、あるいはその年度の申告書に取得単位の記載があるかどうかチェックする。
- (3) 日医生涯教育課は都道府県医師会から提出された出題を厚生労働省の国試フォーマットに入力する。プリントアウトしたものを生涯教育推進委員会委員長と担当理事で検討したうえ、生涯教育課から厚生労働省（インターネット）に一括して送る。

5. 日医への提出締切 平成17年1月14日（金） 必着のこと。

6. 医師国試問題作成講習会について

現在の医師国試問題は、すべて客観試験（多肢選択形式－MCQ）で行われている。MCQの作成には、ある程度の知識を必要とするので、近日中にMCQ作成講習会を計画している。開催日時、場所等具体化した際には、都道府県医師会生涯教育担当理事のご参加をお願いしたい。